

2024年取組一覧(中南米)

アルゼンチン

来場者数5万人のアニメイベントの開催

ドミニカ

経済産業省ODAによるメトロFS調査報告会及びG to G協力覚書の署名

ブラジル（クリチバ）

進出企業向け法律相談会

ブラジル（クリチバ）

日本企業が持つ汚泥等堆肥化技術のアピール

【その他】

来場者数5万人のアニメイベントの開催(アルゼンチン)

開催日: 令和6年8月16日～18日

場 所: ブエノスアイレス市内「セントロ・コスタ・サルゲーロ」

主催(共催): Yamato Producciones社(アニメ、マンガ、コスプレ及びゲーム関連のイベント会社)、
Editorial IVREA社(マンガ出版社)

協力: 在アルゼンチン日本国大使館

在アルゼンチン日本国大使館

【概要】

- 令和6年8月16日から18日にかけて、アルゼンチン最大規模のアニメの祭典「アニメコン」が開催され、3日間で5万人が駆けつけた。会場内では、音楽ライブ、漫画家及び声優のサイン会、アニメグッズの販売・展示、太鼓パフォーマンス、ゲーム・エリア、屋台での日本食提供などが大規模に行われた。参加者からは満足度の高いコメントが寄せられ、改めて、日本のブランド力の高さとクールジャパンの裾野の広さが認識される結果となった。
- 最終日には、日本民族音楽芸能集団「あべや」が公演を実施し、1300名以上の参加があった。同公演においてはブラジルで「あべや」と活動を共にする日系人民謡家及び当国和太鼓グループも共演し、日本のプレゼンスを示すと同時に、日本の音楽を通じた3ヵ国交流を実現した。
- 会場には連日多くのコスプレイヤーが詰めかけ、最終日に実施されたコスプレ・コンテストでは本使が審査員を務め、優勝者との交流の様子等を当館SNS上で発信した(インスタグラム、X及びフェイスブック)。



【その他】 経済産業省ODAによるメトロFS調査報告会及びGtoG協力覚書の署名

在ドミニカ共和国大使館

開催日： 令和6年2月22日

場 所： ドミニカ共和国大統領府

先方出席者： サントス大統領府大臣、アルバレス外務大臣
ビセンテ財務大臣、イサ経済企画開発大臣 他

【概要】

- 経済産業省による質の高いインフラ海外展開に向けたODA事業に採択された、日本工営(株)による「メトロ3号線整備調査事業」のプレFS調査に関し、当国政府の協力の下、調査内容に関する報告会を実施した。在外公館は本会実施に関する支援を行った。
- 閣僚4名をはじめとする当国政府関係者の前で、調査実施者である日本工営が調査結果を報告し、経済産業省からも事業に関する補足説明を実施した。参加閣僚からは報告内容に関する質問が寄せられた。
- 同時に、両国政府間の経済開発および協力に関する覚書が署名された。両国間の協力水準を高めることを目的として、特に公共交通システムを含むインフラ開発及び産業部門に関し、関係機関及び民間部門による協力を促進することを確認した。



【その他】

進出企業向け法律相談会の実施 (ブラジル)

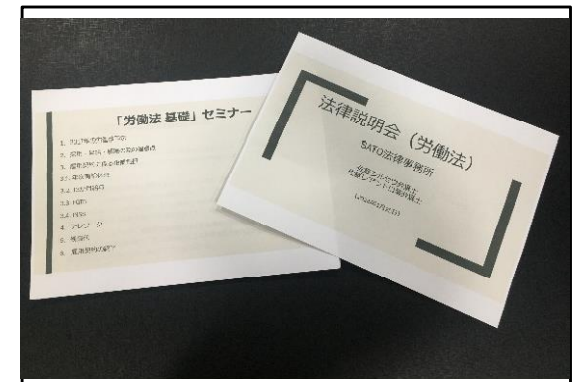
開催日: 令和6年1月25日
場 所: 在クリチバ総領事館
主 催: 同上
協 力: SATO法律事務所
参加者: 5社

在クリチバ総領事館

【概要】

在クリチバ総領事館は、サンパウロのSATO法律事務所の協力を得て、パラナ州及びサンタ・カタリーナ州に進出し、駐在員を配置する日本企業向けに「ブラジル労働法の最新状況等に関する説明会」を実施。

- 同法律事務所のジルセウ・サトウ弁護士ほかから、最近のブラジルの労働裁判の傾向について解説がなされた上で、当地における労務管理で日本企業が特に留意すべき点等について具体的な事例を挙げつつ説明。その後、各社が直面する課題について、活発な質疑応答も行われた。



【その他】

日本企業が持つ汚泥等堆肥化技術のアピール(ブラジル)

在クリチバ総領事館

開催日: 令和6年6月～11月
場 所: パラナ州上下水道公社(Sanepar)
主催(共催): Sanepar、共和化工(株)

【概要】

- パラナ州を中心に、下水汚泥等の堆肥化技術を活用した有機肥料の生産事業等への参画を検討する共和化工は、本年6～9月、Saneparの協力のもとクリチバ市内で堆肥化実証実験を実施(写真・上)。
- 同実証実験をもとに、共和化工とSanepar間の協力をさらに進めていくため、2024年6月21日、共和化工及び在クリチバ総領事館はウィルソン・リプスキSanepar総裁と面会し、日本企業が持つ堆肥化技術がパラナ州の農業の持続可能な発展等につながる点について説明を行った(写真・中央)。
- 同実証実験が成功裏に終了したこともあり、11月18日、共和化工とSanepar間において、ビジネス化を含む今後の更なる協力に関する覚書への署名が行われた。
- 署名は、共和化工本社は小西取締役副社長が、Saneparはリプスキ総裁が行い、調印式にはピアナ・パラナ州副知事、三井総領事も出席した(写真・下)。

